

新体育館竣工!

◆◆◆◆◆ 11月19日、記念式典挙行



同窓会報

第36号

発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
仙台市青葉区川内瀬橋通
☎二二一五六五一(直通)
印 刷 創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区大手町六番二二号

新体育館竣工にあたって

学校長 佐藤 隆信

ここ北陵の一角に、待望の新体育館がついに完成しました。それも威風堂々とした、重々しさが感じられる、まさに仙台二高にふさわしい新体育館の誕生であります。

設計から始まり完成まで約2年の歳月を要しました。起工式が行われたのは昨年の10月、以来順調に着々と工事が進み、早くもここに落成を見ましたことは、誠に嬉しいかぎりであります。新時代にふさわしい近代建築技術を駆使し、最新の施設・設備が整備されました。

また、館内の多くの運動用設備は、「新体育館には、新体育館にふさわしい諸設備を」と、本校同窓会・奨学会の皆様から、多大なご協力をいただきました。生徒を思う関係各位に心から御礼申し上げる次第です。

待望の新体育館がついに完成した。平成十三年の北陵館に続き、再び北陵の地に、二高生をあたたかくつきびしく育む施設が誕生した。新体育館完成にあわせて、同窓会、奨学会からは別記のとおり、トレーニング器具等が寄付された。ご尽力いただいた関係の方々に、心より感謝の意を申し上げたい。

竣工の記念式典は、多數のご来賓を迎えて、平成十五年十一月十九日(水)に挙行された。竣工にあたつての佐藤隆信校長の挨拶文を紹介する。



卷頭言

会長西澤潤一

潤一

二高同窓会は揺れ動いています。少々荒れるぐらいの方が元気がよいことなのではあるが、充分説明がない儘に、私は偶然福島県で聞いて来て知った位で、大抵の方の知らぬうちに男女共学化が実行段階に入り、衝撃を受けられたに違ない。

れて、大学で使って貰いたいと押しつけられた先生方のボヤキも聞いているから、いわゆる肚を割った開けすけな話が出来なくなつて、教育上不徹底になることは避けられないとようについていた。

その代りスマートで近代的な付き合い方になるから、深く徹底した教育は仲々難かしくなると思われる。

惜しみながら已むを得ないかと諦めている昨今だが、

諦らめられない方々も未だ山居られるのを知つたことは寧ろ嬉しいさえある。

験がなかった訳だが、経験のある方々もやはり影響が無視出来ないことを体験的に知つておられて心配されるのだと思う。

なった時、何がよくて、何が
よくないかを纏めて整理して
見る必要があると考える。

女性の前で男性にマイナスに見える様なことを云うと、

男の恨みは底深い。教育現場では、このようなことをやるわけにはゆかないから、女子

とは、すぐお判りになること
と思う。

重点があると考えるが、高偏差値校を目標とするようにな

長い歴史の中で、幾度となく大改革を潜り抜けて来た仙台二高のこれまでを考えると、今後、更に長い歴史を刻んで

今後、更に長い歴史を刻んでゆくべき二高には、これ位のことを処置出来ないでは通せぬ。

ないのは当然で、どのような結果になるかは別として至急話し合いを進めて、よく相互理解するまでの努力を続けてゆかなくてはならないと考える。

只残念なことは、前述の共学化による色々の変化についての調査を実施するには、既に時間がなく、今後他校のために参考資料として蒐集して云うことが報ぜられている。

将来の希望する分野の基礎科目を受験課目とすると勉強時間を割に仲々点が取り難いことを考えて受験課目とせず点を取り易い専門外の課目を受験課目とさせ、将来必要な基礎課目の方は、充分授業時間とらず勉強時間も短かくする結果、大学合格後改めて補習講義をやって貰うなどと云うことが報ぜられている。

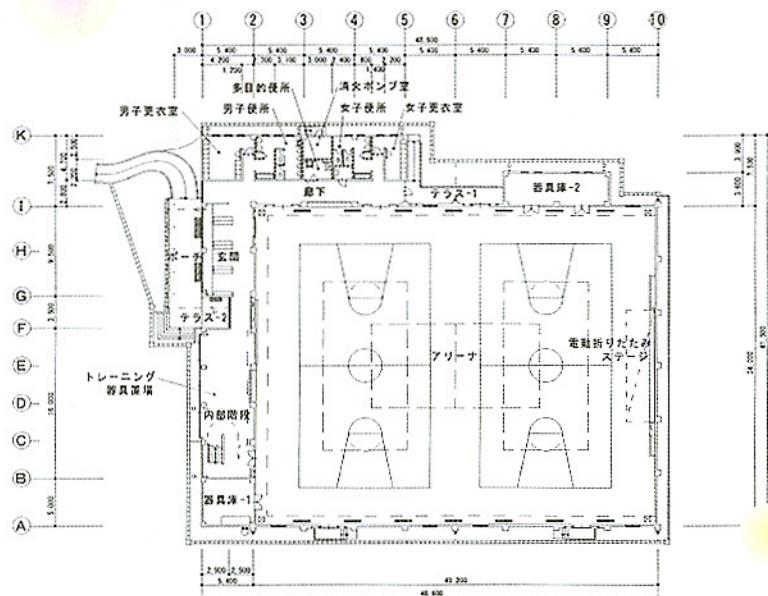
おくことも必要かと思われる。

て、一応父兄母姉の希求される高偏差値大学への入学を至上原理として教育を進めてよいかと云う問題がある。

母校としての務めは、入学した生徒諸君が、よく天分を發揮して、素晴らしい人物になつてくれるようにしてゆくこと

にあり、本校の「文武一道」の校是を守ることの方により

施設平面図



建築概要

工事名称 仙台二高屋内運動場改築工事
工事場所 仙台市青葉区青葉山1-1
発注者 宮城県知事 浅野 史郎
設計 (有)千田總兵衛建築事務所
建築 仙台土木建築工業株式会社
電気 北上電設工業株式会社
機械 東水工業株式会社
工期 着工 平成14年10月30日
完成 平成15年10月31日

工事種目

- ①建物用途 屋内運動場
- ②構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建、一部鉄骨造
- ③敷地面積 11727.21m²
- ④建築面積 1922.63m²
- ⑤延床面積 1887.87m²

施設概要

- 1階 男女更衣室・男女便所・消火ポンプ室・多目的トイレ・用具庫・器具庫・1,2・トレーニング器具置場・アリーナ
- 2階 準備室・メンテナンスギャラリー



「新体育館にふさわしい諸設備を」ということで、同窓会・奨学会より別記のとおり、寄付をいただいた。あつく感謝申し上げる次第である。なお、新体育館の施設概要、平面図については、以下のとおりである。同窓生諸氏にあつては、ぜひとも機会をみつけてご来校いただき、新体育館見学と合わせて、現役生を激励していただきたいものである。なお、懐かしい思い出がたくさん刻み込まれた旧体育館であるが、十二月中に解体され、跡地にはテニスコートが出来上がる予定となっている。

同窓会・奨学会よりトレーニング器具類を寄付

八七六五四
 閉校運動感謝来
 歌設備寄呈介
 ○ P T A 会長
 阿部 西澤潤一
 代行石井副会長
 同窓會長
 祝学校開式
 校長式第
 式次第
 辞辭式
 斉備贈紹亮
 式唱贈呈介



同窓会・(財)奨学会 寄付物品一覧

① バレーボール用支柱	2対
② バレーボールネット	2組
③ 支柱カバー	2組
④ バレーボール審判台	2台
⑤ テニス用支柱	2対
⑥ ソフトテニス用ネット	2組
⑦ マルチジムMG500	1基
⑧ レッグプレス	1基
⑨ ラバープレート51Φ	1組
⑩ オリンピックベンチ	5台
⑪ ラバープレート28Φ	5組
⑫ アブドミナルボード	1台
⑬ ゴムマット	3枚
⑭ ボール収納かご	3台

⑮ 回転黒板	1台
⑯ ホワイトボード壁掛け用	1面
⑰ デジタルタイマー	2台
⑱ デジタルタイマースタンド	2台
⑲ 得点板	2台
⑳ ボールバー整理台	1台
㉑ バーベルセット	1組
㉒ ダンベル(ラック付)	1組
㉓ 鏡(移動式姿見)	5個
㉔ メディシングボールセット	5個
㉕ ジャンプMD	1台
㉖ フロアシート137cm×25m	12枚
㉗ ハンガー	2台
㉘ 他 トレーニング用消耗品4品目	



新体育館竣工記念式典 来賓一覧

同窓会	石井 敏夫 様	奨学会理事
副会長	高橋 正道 様	奨学会理事
副会長	高橋 笠氣 様	光祚 様
副会長	高橋 篤典 様	範典 様
参与	菅間 進 様	同窓会
参与	牛田 敏 様	同窓会
理 事	牛田 千葉 様	純治 様
監 事	萩原 邦明 様	同窓会
学 校 評 議 員	佐々木武夫 様	
学 校 評 議 員	松澤 保信 様	
部活動関係	バスケ北陵会会长	
部活動関係	萩原 邦明 様	
建設各社	千田 浩 様	
建設各社	仙台土木建築	
建設各社	佐藤 正尚 様	
建設各社	高橋 和男 様	
建設各社	高橋 恒二郎 様	
建設各社	東水工業	
大友 满治 様		



「温故知新展」が十一月十七日（月）から二十一日（土）まで、北陵館を会場に開催された。百周年の記念式典の際も、少なからず「故」に触れる機会があったが、今回は「北陵館」に次いで「新体育館」と、南校地の整備が着々と進む中で、改めて「故」を「温守」ね、「新」の進むべき道を「知」る機会として開催された。

仙台二中・二高「温故知新展」開催される！

にしようとしたもの。見学に訪れた現役の生徒は、本校が所有する至宝や、先輩方の輝かしい業績を知るにつけて、改めて驚嘆の声をあげ、襟を正して開催された。



なお、パンフレットの記載内容及び展示物一覧は、次頁以下のとおりである。

なあ、パンフレットの記載内容及び展示物一覧は、次頁以下のとおりである。

その他PTA関係からは会長の阿部亮様以下四〇名の方々が出席された。

☆「温故知新」展パンフレットより

◇二高の至宝、和漢古書三、七四九冊の一部を特別展示

◇明治時代の入学試験を解いてみませんか

◇無念極まりなし！ 櫻哭の生徒・教師の藏王山遭難の顛末

◇大正十三年の創立に十五周年記念式典の生徒総代祝辞の巻紙……名前を見ると……愛知揆一！

◇昭和三年の校舎移転の貴重映像……北六校舎から机を担いで川内まで

◇旧校舎、そして間もなく解体される旧体育館を偲ぶ品々



新体育馆竣工記念

仙台二中・二高「温故知新展」出品目録

【記念誌等出版物】

創立六十周年記念「仙台二高」一九六〇

「仙台二高八十年のあゆみ」

「仙台二高百年史」

学友會雑誌（明治時代、大正2～15年、昭和初期）

第五代校長河合紹吉著「仙台二中移転秘史」（昭和39年）

造型第一号（昭和23年）

二中野球部小史（昭和16年）

第五代「科博」之校長著「校舎改築あれこれ」（平成12年）

「峰秀で水澄みたり」（昭和55年）

九十周年記念刊行「和漢古書解題目録」（平成2・10・25）

百年の逸材（平成12年）

【写真・アルバム類】

卒業アルバム（大正15年）

明治34年一中一中連合大会運動会

明治期の修学旅行写真（松川浦、相馬、水戸、日光、他）

明治41年10月東宮殿下東北行啓記念宮城縣写真帖

北六番丁・川内校舎の職員・生徒集合写真

北六番丁校舎写真

創立十周年記念式典

旧制中学クラス写真（一年生・五年生）

旧校舎ボイラ室写真

第1回生・4回生・28回生・31回生卒業生写真

軍事教練写真

昭和7～9年アルバム

戦前・戦中の学校行事写真

肖像写真（三船久蔵、愛知揆一、楨有恒、大岡鶴磨他）

昭和31年7月17日楨有恒氏マナスル登頂記念講演会

横有恒サイン入りマナスル山頂写真

昭和31年8月甲子園大会参加

創立三十周年及び移転新築祝賀写真

創立四十周年記念式典写真

創立五十周年記念式典

創立五十五周年記念事業（愛知揆一、上智大エルンハーゲン他）

星会長寄贈の青葉山山林に五十五周年記念植林

創立六十周年記念式典アルバム、同窓会アルバム

創立六十周年記念音楽会「五十嵐喜芳リサイタル」

応援団・部活動写真

東北産業博覧会会場周辺写真（中47斎藤茂方氏寄贈）

体育館建築工事アルバム

【校史・記念事業・百周年展示関係】

創立十周年記念式関係資料

創立四十周年・皇紀二六〇〇年記念事業関係資料

創立六十周年記念式典（昭和35・5・1）配布物

創立六十五周年体育馆落成記念（昭和41・4・22）配布物

創立八十周年記念式典（昭和55・11・12）配布物

創立八十周年記念毎日新聞記事（昭和55・11・12）

創立九十周年記念式典（平成2・10・25）配布物

創立百周年記念式典（平成12・10・24）配布物

手書き掲示用校史（山下校長）

校史パネル

蔵王遭難新聞記事コピーパネル

本校誕生までの仙台市内の主な学校の変遷

二中は何処、校歌 宮城県第二中学校創立の頃

【書画・物品類】

第一回卒業生総代（宮澤浩）答辞

日露戦争旅順口で戦死の助教諭への弔辞（明治38年）

創立十周年記念式典笛倉新治校長式辞（明治42年）

大関鶴磨先生への弔辞（明治45年）

創立25周年記念式典生徒総代（愛知揆一）祝辞

昭和21年1月1日付け詔書（下張りに昭和16年詔書）

本郷房太郎陸軍大將（二中移転に尽力）扁額

愛知揆一氏扁額

星廉平書、他掛け軸

榎有恒書掛け軸

三船十段書掛け軸

清水小路時代の校舎写生図

校旗デザイン原画

尚賢式肖像額（和氣清麻呂、キリスト、プラトン他）

旧校舎模型

旧校舎草、東北産業博覧会時計

明治期教卓・椅子

北六番丁校舎屋根瓦

旧校舎鉄筋

昭和43年度第二十一回卒業記念声のアルバム（ソノシート）

二高マラソン優勝盾（愛知揆一氏寄贈）

校名入り相撲まわし

創立八十周年記念品（メダル、酒盃）

卒業生進路表（明治39年）

入学試験問題綴り（明治36年（昭和12年））

大正7年蔵王山遭難記録、顛末報告書

昭和3年東北産業博覧会関係資料

【印刷物・新聞記事類】

芸術陶器板壁画各階原画

宮城県第二中学校規則（原本保管者中35回小野力氏）

生徒心得・学校規則（明治期～昭和）

新人生心得・生徒必携（昭和17年～23年）

宮城縣仙臺第一中學校生徒必携

宮城縣教育是（昭和13・6・6 宮城縣訓令甲第二十號）

戰前～戰後の教科書

仙台二高新聞

昭和32年度学校一覽

藏王山遭難顛末概略（大正9年学友會雑誌抜粋）

河合先生胸像再建趣意書（昭和38年8月）

第三回ノーベル賞受賞者日本フォーラム（平成2・10・30）

PTA・同窓会合同新年懇親会しおり（昭和38・1・14）

フェスティバル・イン仙台二高（昭和56・8・22）

【図書館収蔵品】

和漢古書（約三、七〇〇冊から抜粋）

昇足一領（甲冑一式）

卒業生関係の書籍

【公文書・事務書類等】

明治45～大正15年学校報告（職員の出欠、生徒在籍他）

明治30年代土地建物引継関係書類

大正年代土地建物図面・書類

昭和初期土地建物臺帳

昭和20～21年進駐軍交渉関係資料

【VTR】

校舎移転落成の記録（昭和3年16mmフィルムから）

旧制仙台第一中学校軍事教練・花の開く様子

昭和初期の仙台二中①～③NHK（一九九八・九放送）

仙台一高・二高野球定期戦

百周年記念ビデオ

支部会開催報告

岩手北陵会だより

氏家和國

平成十五年一月二十五日
(土)、第二十一回岩手北陵会
総会が盛岡駅ホテルメトロポリタンで開催された。
今年は三十分早く集ってい
ただき、総会に先立って、西

沢潤一先生にご講演をお願いした。

総会は、冒頭、小生の同級生であり、この会設立の発起人の一人として、会運営に尽力してきててくれた、故曾根久力（平成十四年十月十八日ご逝去）に感謝の意を表し、黙祷を捧げご冥福を祈った。

たが、ご臨席の三氏を囲み、自己紹介に始まり話題はつきなかつた。八時近く、先生方の帰仙の時間が迫つたので、凱歌を歌い、再会を約し閉会した。

岩手北陵会にはもう一つの

集りがある。岩手県在住仙台一・二高（中）合同懇親会である。

昭和六十三年の発足以来一
時中断したが、昨年復活、今
年は九月六日（土）午後五時
から、昨年と同様、盛岡市エ

校歌斉唱につづき、お出でいただいた、佐藤三之校長・西沢潤一会長・石井敏夫副会長の三氏から母校の近況、窓会の活動状況についてお話をうかがった。今年は、出席

スポーツアーリーで、第十回目の会が開催された。一高同窓会会長手島典男氏・事務局長吉田和郎氏、一高教頭千田芳文氏・副会長石井敏夫氏に御臨席を賜った。昨年は西沢先生にお出でいただいたが、今年は直前になつて公務のため欠席さ

今年の出席者数は一高側十二名、二高側十一名であり、これまで常に二高側が二七名、一高側十一名であり、これまで常に二高側が二

福島北陵会だより

益田芳幸



東海北陵会第八回総会について

管原驗

北アルプスでは初雪の便り
も聞こえるようになつた十月

下旬、今年も遠く仙台を離れ
た名古屋の地に元紅顔の北陵

高さんを上回っていた) こち

小川内科医院)が選ばれました。事務局は従来通り益田芳幸(高3回卒)と河村公雄氏(第18回卒)が担当することと

小川内科医院)が選ばれました。事務局は従来通り益田芳幸(高3回卒)と河村公雄氏(第18回卒)が担当することになりました。

総会の後懇親会に移り、母校の近況、同窓会の近況をお聞きし、なごやかな一時を過ごしました。特に懇談の中で話題になつたのが男女共学についてでした。福島県では福島高校、磐城高校が男子校として最後まで残りましたが、ついででした。福島県では福島高校、磐城高校が男子校として最後まで残りましたが、ついででした。福島高校、磐城高校が男子校となりました。色々意見もあつたようですが、時代の流れには勝てなかつたようですね。昨年四月で全ての高校が共学校となりました。色々意見も書いていくのか冷静に見守っています。結婚したいと思っております。結婚する話題に時間の経つのを忘れました。最後に全員で校歌を歌い解散しました。

副会長にはるはるお越し頂いた
だき、母校の近況や後輩諸君
の活躍ぶりについて報告を頂
いた。特に今回のお話の中で、
いよいよ平成十八年から二高
も男女共学になるとの報告が
あり、会員の間から驚きの声
が上がった。賛否両論いろいろ
が、有為な女子生徒にもぜひ
北陵魂を継いでもらい、母校
においては日本の将来の発展に
おおいに寄与して欲しいもの
である。



い訛りが時折混じって
いるなと感じたのは小
職だけだつただろうか。

aitai.ne.jp 菅原)
以降高橋副会長からのアドバイスにより、当時の出席者(敬称略)と卒業年次(〇数字)を記しておく。

飯田敬彦・中42、鈴木憲二・
中47、松田武彦・中47、小村
益生③、山岸俊一④、久保重
明⑧、松本恭一⑧、渡部清一
⑧、岡忠男⑨、千葉善根⑨、
松本博行⑨、近田博生⑨、石
垣秀夫⑩、佐山泰弘⑩、斎藤

野田理吉⑯、菅野幸一⑰、菅原聰⑱、佐々木実⑲
(文責・菅原24回)

同期会報告

いよいよ平成十八年から一高も男女共学になるとの報告があり、会員の間から驚きの声が上がった。贊否両論あろうが、有為な女子生徒にもぜひ北陵魂を継いでもらい、母校においては日本の将来の発展におおいに寄与して欲しいものである。

若い層の参加を切に望むものである。連絡先を記して置くので東海地区在住の二高OBは是非連絡していただきたい。(ssugawar@bm

橋本博行⑨ 逃田博生⑨

年間続いている総会には常に出席されました。

昭和四十六年『清流』第四十六号よりは毎年発行して、

会報『清流』第24号追悼号と
第50回記念号

悼号と第五十号の記念号で、これらの会報には会員全員の寄稿を頼んで仕上げました。

校でお世話になつた先生方をお招きして総会を催したこと、横澤先生亡き後も、奥様が名誉会長になられ、ここ三十八

管井富(中41回卒)

ものではありませんでした。
又知人に頼んで文章をタイプ
ライターを打って貰つたこと
もありました。少し財政が豊

紙がなく、所詮葉半紙で印刷も不明瞭で、まともに読めるものではありませんでした。

一五·九·二五

清流会（仙台一中41回卒） 第六十二回クラス会

会長 菊地 理（中41回卒）



第六十二回清流会総会
平成十五年四月十八日
仙台市茂庭荘にて
遠藤 慎治 西條 貞雄
菅井 利良 井上 正見
小林 文隆 菊地 理
榎本 伍良 相田 一郎
菅井 富 武田 隆

平成十五年四月十八日、仙台市勤労者保養所茂庭荘に於て、清流会第六十二回総会が行われました。今回は、会員が八十才の傘寿を迎える歳に当るので、仙台近郊の宿に泊で、総会をしようと幹事会でここに決めました。

八十才ともなれば、寄る波には勝てず、病気などで出席者も少なくなり、当日は十一名を数えるだけでした。それでもはるばる東京より井上

兄が久し振りに参加され、総会を盛り上げてくれました。その夜は話がはずみ夜遅くまで語らい合いました。

発足以来六十年余も経った清流会は、それでも健在と考えています。これからが正念場と思われますので、各自健康に留意し、移り変わるこの世の中を遠慮するよう頑張るつもりであります。

一五・九・一五

高3回卒在京同期会

森 郷巳（高3回卒）



同期会は、現在八十五人。途中他校に転出した者五人も会員に加えている。中学三年高校三年、計六年間、同じ校舎で過ごしたのだから、通じ合う気持ちの強いものがある。

同期会は、型通りかもしれないが、記念写真撮影、乾杯、本人の健康不全というのが十人で、去年より十人減った。物故者は、この十年間で四人。

今回の同期会欠席理由として一人、これが去年より少し多いが、総じて健康体を保って

去る七月十四日（月）東京、ホテルオークラで同期会を開催した。参加は二十六人。高橋、木村、飯塚の三君が仙台から加わった。夫人一人も参加して和やかで楽しく、いい

お開きとなつた。皆満足して次回の同期会を約しかつたりであります。

懇親の宴、各人それぞれ五十分間の近況報告、そして校歌・凱歌の齊唱で午後九時近くのお開きとなつた。皆満足して次回の同期会を約しかつたりであります。

このままやつてきたものをさらに深めようとしているところだ。パソコン、写真、水泳、登山、中には参禅、ピアノ等、開基は六段以上二人、ゴルフはシングル級二人、五百頁以上もの著書を今年出したのが二人、これらは積年の努力の成果である。

高校14回同期会・ひとよし会

東京大会開催
鈴木 博敦（高14回卒）

十一月九日、題記同期会が開催された。

朗君が常務・総支配人をして会場は我が同期生の黒須史

トロボリタンエドモント。

今回も彼に多大なご厚意を頂きまことに有り難い存在である。

開会に先立ち、今年に入り宮城県の高校教育界で活躍した山形隆昭君が他界した旨の

いる者が多いといえるかもしない。

メッセージによると、一番配意しているのが健康、次いで、

報告があり、既に冥界に先立つた二十一名の同志の冥福を祈り黙祷を捧げる。そして開会。先ずは仙台から駆けつけてくれた笛氣会長の「健康に留意して先立つた仲間の分まで人生を楽しもう」との含蓄のある挨拶、そしてロンドン勤務を終えて帰国し今は札幌勤務中の元応援団幹部長の日下啓君の音頭による乾杯でよいよ開宴。

本の出版元に勤務する星永

揚君から全員へのプレゼント

や今回欠席乍ら今井隆夫君か

らご寄贈の金一封のご披露の

後、司会役の鈴木博敦の指名

による一言スピーチが始まる。

茨城在住で食品研究のオーソ

リティー・博士らしくない博

士と評判の鈴木

建夫君に始まり、

これ又茨城から

駆けつけた初参

加の阿部和雄君、

バレーボール部

O Bの庄司充夫

君、ラグビー部

で活躍した庄司

高明君、情報シ

ステムの営業マ

ンとして活躍中

で大阪から馳せ

る。

今日は前述の

方々の他、仙台

からは中村鐵太

郎君、熊谷公夫

君、山家祥三君、

平成十四年十一月十五日「水

山の陰から人が見える」

高27回 鈴木武一氏

(ベガルタ仙台強化部長)

高21回 鈴木幹男氏

(仙台東脳神経外科病院

理事長)

参じた藪内裕久君、J R再建

に尽力した鈴木晴美君、鹿児

島勤務から帰任の西條純一君

などがそれぞれ深みのあるス

ピーチを披露。

そして磐井裕君から彼が丹

念に記録を纏め仙台から持参

してくれた資料・写真を元に

「ひとよし会の歩み」の説明

があり全員感概を新たにする。

宴もたけなわの中、元ニコ

ンの柳尾淑孝君とバスケット

の社会人リーグをリードした

山口厚君による記念撮影、そ

して定番の校歌、凱歌へと会

は進み、校歌は元合唱団の佐

藤輝夫君のリードで、凱歌は

元応援団の阿羅健一君や小野

彰彦君、茨城から駆けつけた

半澤農大君たちのリードでそ

れぞれ声高らかに齊唱。

一旦はここでお開きなるも、

話は尽きず二次会へ、結局何時

に散会したのか不明でした。

北陵会は再開から一周年を迎える、九月二十七日ホテル江

陽で総会を開催しました。総

会では一年間の活動報告が行

なわれ、これから北陵会の運営や仙台二高の共学化などについて活発かつ楽しい議論が繰りひろげられました。

この一年間で開催した北陵会は左記のとおりです。

◆ ◆ ◆

平成十四年九月十三日「ワールドカップとベガルタ仙台」

平成十五年四月二十八日「カ

ナダで生まれて東北で育った輸入住宅」

高23回 佐々木洋氏

(専修大学教授)

平成十五年四月二十八日「カ

ナダで生まれて東北で育った輸入住宅」

高20回 新本恭雄氏

(セルコホーム㈱代表取締役)

平成十五年六月十日「聞いて得するビールの話」

高22回 斎藤紀夫氏

(キリンビール㈱宮城支社長)

平成十五年八月二十八日「脳を鍛える法・今からでも間に合う」

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君

から「日本経済を立て直すう」という演題で開催する予

定です。

これからも北陵会を通じて

各分野に進出している仙台二

高の卒業生の活躍を広げていきた

いと考えています。同窓諸兄の理解とご支援をお願いします。

興味のある方は、ぜひ北陵会のホームページをご覧ください。

http://www.hokuryo-kai.com/

入会をご希望の方は、高26

回加藤幹夫まで以下の方法で

ご連絡ください。

勤務先 新陽ランドリー

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君

から「日本経済を立て直すう」という演題で開催する予

定です。

これからも北陵会を通じて

各分野に進出している仙台二

高の卒業生の活躍を広げていきた

いと考えています。同窓諸兄の理解とご支援をお願いします。

興味のある方は、ぜひ北陵会のホームページをご覧ください。

http://www.hokuryo-kai.com/

入会をご希望の方は、高26

回加藤幹夫まで以下の方法で

ご連絡ください。

勤務先 新陽ランドリー

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君

から「日本経済を立て直すう」という演題で開催する予

定です。

これからも北陵会を通じて

各分野に進出している仙台二

高の卒業生の活躍を広げていきた

いと考えています。同窓諸兄の理解とご支援をお願いします。

興味のある方は、ぜひ北陵会のホームページをご覧ください。

http://www.hokuryo-kai.com/

入会をご希望の方は、高26

回加藤幹夫まで以下の方法で

ご連絡ください。

勤務先 新陽ランドリー

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君

から「日本経済を立て直すう」という演題で開催する予

定です。

これからも北陵会を通じて

各分野に進出している仙台二

高の卒業生の活躍を広げていきた

いと考えています。同窓諸兄の理解とご支援をお願いします。

興味のある方は、ぜひ北陵会のホームページをご覧ください。

http://www.hokuryo-kai.com/

入会をご希望の方は、高26

回加藤幹夫まで以下の方法で

ご連絡ください。

勤務先 新陽ランドリー

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君

から「日本経済を立て直すう」という演題で開催する予

定です。

これからも北陵会を通じて

各分野に進出している仙台二

高の卒業生の活躍を広げていきた

いと考えています。同窓諸兄の理解とご支援をお願いします。

興味のある方は、ぜひ北陵会のホームページをご覧ください。

http://www.hokuryo-kai.com/

入会をご希望の方は、高26

回加藤幹夫まで以下の方法で

ご連絡ください。

勤務先 新陽ランドリー

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君

から「日本経済を立て直すう」という演題で開催する予

定です。

これからも北陵会を通じて

各分野に進出している仙台二

高の卒業生の活躍を広げていきた

いと考えています。同窓諸兄の理解とご支援をお願いします。

興味のある方は、ぜひ北陵会のホームページをご覧ください。

http://www.hokuryo-kai.com/

入会をご希望の方は、高26

回加藤幹夫まで以下の方法で

ご連絡ください。

勤務先 新陽ランドリー

FAX ○三一三七六一五五二

eメールアドレス

alaundry@cocoa.ocn.ne.jp

次回十一月十八日の北陵会は、高11回 笛氣光祚氏(宮城エンジニアズ・フォーラム代表)を講師にベンチャーエンジニアの活動をして直ぐに開かれることと思われる。

次回は一年後くらいに仙台方面で開かれることと思われるが今から再会が楽しみである。

出席者・前記の通り四十二名

君、藤原誠一君、村井政昭君

からは佐藤充正君、茨城から

は三浦克洋君と遠来の同志も

多く集まり、首都圏在住の明

石綿君、今井秀大君、今沢義

嗣君、菅野修二君、今野勝利

君、島谷藤弘君、高橋聰君、奈

良坂仁君、西村正弘君、橋本

敏男君、福沢宏昭君、藤原厚

君、藤原誠一君、村井政昭君



共学化の説明会紛糾 県教委から・同窓会主催で

共学化方針が県教委から発表されて以来、同窓の中で賛否の議論が噴出しているが、この問題についての行政からの説明不足の意見が多いことを踏まえて、同窓会から学校を通じて県教委に要請し、同窓会主催による県教委からの説明を聞く会が県教委の若生次長他担当者の出席により、十一月三十一日（金）午後六時から北陵館で開催された。同窓会常任委員を中心四百名余りに案内状を送付、当日出席は五十余名であった。事前に

寄せられた同窓OBの質問事項を「共学化のメリット・意義について」「共学化維新の背景・経緯について」など四項目にまとめ、重要度順に並べて、説明が行われる予定であったが、同窓OBにとっては初めての県教委からの公開説明の場であったこともあり、激しい意見が続出し同窓の集まりとしては、かってなく紛糾した。騒然たる説明会となり開催の目的である行政からの説明が不十分なまま午後八時閉会が宣言された。この問題について

OBの心情に配慮した説明が
無いままで進行している事への
疑問が寄せられている。ち
なみに説明会返信による意見
集約は共学化に反対十九、賛
成九、その他説明不足・議論
不足など十九であった。
「男女共学化についての宮
城県教育委員会実施方針」
平成二十二年度までに県立
高校を一律共学化
十七年度 再編開始

る。その後、同窓会として県議会・県教委、浅野宮城県知事に共学化の方針決定の真意を質してきたが、同窓OBか

角田高・角田女子高・築館高・
築館女子高・氣仙沼高・鼎が
浦高・矢本高・石巻高・石巻
女子高

十八年度 仙台二高・石巻高
石巻女子高・石巻商高
二十二年度 第三女子高（校
舎改築）

IT準備委 月一回開催で 検討

本年四月発足のIT準備委員会の議論を受けて

同志会のIT化の進めかたについて慎重に検討を重ねてい
る。

◎ホームページの開設

①各団期 各地域支部 各
クラブOB会と同窓会本
部とのネットワークをつ

くり日常的な情報交換を
はかる。

②週刊誌、月刊誌的な新しいニュースを提供するた

めに情報収集の仕組みを考える。

③すべての同窓会員がいつでも参加できるオープンな受け皿をつくる。

二、経費削減効果をはかる

①メールでの各種案内（通信費削減）

②会員名簿の精度アップに活用するなどを計画している。

◎年会費振込情報の検索

郵便振込の不便さを解消するために、コンビニでも入金できるシステムの導入に伴いインターネットによる検索を可能にする。

◎メールアドレス登録の促進

今後、あらゆる機会を利⽤して同窓会員からのメール登録を促進していく。

など種々の活用が考えられるので、本部パソコンにメールアドレスを設定、専用電話回線を設置するなど準備委員会としての検討を進めている。

☆同窓会ホームページ([www.sendainiiko.com](http://sendainiiko.com))でメールアドレス登録受付中。



不惑會報告

中
40
回
卒

青山
史朗

学徒出陣六十年目の日 靖国神社と 出陣記念碑を訪れ、級友を偲ぶ

中40回卒 佐久間博信

日本政府は昭和十八年十月二十日、学生生徒の徵兵猶余を停止、学業中途で軍に入り、戦場に赴くことになった。十月二十一日、全国七十七校より二万五千名の学生が、東京

翌十六年
十二月、
大戦勃発
し、戦場
は太平洋
の彼方迄
拡大、日
本の自宅で、盃を交し別れを
合せに東京に出張滞在してい
た。
学徒出陣壮行会の二日前、
二中同級で在京の相山君の母
上より、家族送別会に出席席を
求められ、空襲対策で薄暗い
部屋で、盃を交し別れを

「我々はあの時、雨の中を行進し、戦場に征き、幸いに生きて帰った。貴方もそうか。」

の明治神宮外苑競技場（現・国立競技場）に集合、出陣壮行会が行われた。当時の東條首相以下、政府軍の幹部が出席、護国への期待と激動の言葉を述べた。

中40回は昭和十五年母校卒業、多くは大学高専に進学、将来の豊かな人生を夢見ていた。然し、翌十六年十二月、大戦勃発し、戦場は太平洋の彼方迄拡大、日本足、米国買を実施

折から激しい雨の中を整然と行進する学生達に、観客席の家族、女子生徒四万人が、国旗やハンカチを振って見送ったのであった。

この中には二中40回生も、幾人か参加し、また再び日本に帰らぬ友も居た。私は陸士を前年卒業、中国の前線部隊にて戦斗に参加、部隊の南方移動の準備と、打合せに東京に出張滞在していた。

学徒出陣壮行会の二日前、二中同級で在京の相山君の母上より、家族送別会に出席を求められ、空襲対策で薄暗い彼の自宅で、盃を交し別れを惜んだ。

国家の難に赴くと、彼は意氣軒高であり、私は既に慘烈な戦場を経験、友の行く先を思い言葉が出なかつた。二人は二中思い出の校歌凱歌を共にして別れた。

今年は学徒出陣より満六年、この壮行会参加の同期東國七十七軍に入り、徴兵猶余が、東京

の青山史朗君の幹事で、東京靖国神社昇殿参拝後、ホテルで当時を語り偲んだ。参加いづれも八十才以上、共に意気盛んであった。

会終了後、私は一人で千駄ヶ谷駅の競技場入口に、平成五年に有志建立「出陣学徒壮行の地」の碑を訪れ六十年前を想い、相山君を含む戦場に倒れた朋友二十名の若き日の姿に手を合せた。

碑の記念集会は既に終ったが、まだ多くの人が居り私も話しかけて来た。

「我々はあの時、雨の中を行進し、戦場に征き、幸いに生きて帰つた。貴方もそうか。」

私は事情を述べ、学徒の人を部下として、ニューギニアで戦い、帰ることが出来たが……と、言葉を切つた。多くの将兵を失い申し訳なく、と続けられなかつた。

お互ひ、気持を察し後は無言、後輩と思はれる人々は、丁重に私に挨拶して会合があるからと去つて行つた。

有事法制など議論されてい現在の日本、再び祖国存亡の危機あれば、老いたとは言え、現代の若人とと共に祖国と

短 信

明治神宮外苑競技場（現・
国立競技場）に集合、出陣式
行会が行われた。

京の青山史朗君の幹事で、東京靖国神社昇殿参拝後、ホテルで当時を語り偲んだ。参加いづれも八十才以上、共に意氣盛んであった。

国民を守る為、努力すること
を碑に誓い、足どり重く競技
場を後にして。

相山君の東京の留守宅は戦
災で焼失、漸く家族の所在が
判り、三重県に教師となつた

弟さんと、お母さんを尋ね、
彼の位牌に手を合せたのは、
昭和四十三年秋十月で別れて
から二十五年が過ぎていた。
以上

寄稿

第42回卒 眞船 正夫



武士の魂

中43回卒 若生幸一郎

関の孫六 男の姿を

男の姿を そこに見た。

先日、中国は旧ソ連、米国に
次いで有人宇宙飛行に成功、
遂に日本は自慢の先端技術で

いかに他位や栄誉を得たにせ
よ右記を守らねば人間失格と
「人間とは何か」人としての
道を歩み親には孝と恩義は忘
れず、いかなる業務であれ独
力で一つ一つ自分の目的を果
し得たものこそ眞の成功者で
ある、と私は確信している。

私は思う。「人生とは何か」
全力を盡くして行き、終ては
完。平成十五年七月一日（火）
元防衛庁事務官

いかに他位や栄誉を得たにせ
よ右記を守らねば人間失格と
「人間とは何か」人としての
道を歩み親には孝と恩義は忘
れず、いかなる業務であれ独
力で一つ一つ自分の目的を果
し得たものこそ眞の成功者で
ある、と私は確信している。

いかに他位や栄誉を得たにせ
よ右記を守らねば人間失格と
「人間とは何か」人としての
道を歩み親には孝と恩義は忘
れず、いかなる業務であれ独
力で一つ一つ自分の目的を果
し得たものこそ眞の成功者で
ある、と私は確信している。

「終戦前後の仙台二・一中」

高3回卒 和田 謙郎

その中に居た人間という立場
での記憶を思い出すまさに記
録してみたい。

①昭和二十年四月新入生にま
ず言い渡されたことは、学生
帽ではなく戦闘帽をかぶること
と、カーキ色の学生服を着
用、ズボンの横のポケットは
縫い合わせて使えなくするこ
と（手をポケットに入れたら

武士の魂は日本刀、その刀
の中では、二代目兼元作「関の
孫六」は、反りの少ない直刀
に近い美しい姿と、勿論折れ
ず、曲がらず、よく切れる名
刀の一つに数えられる。

鳥羽一郎は歌っている。

「火花散らして
打（たた）かれながら
外に吐き出す
心の濁り

かぬま、東條内閣の命令でメツ
カの甲子園球場大会は中止と
なった。選手及び五年生の無
念さとくやしさは言う迄もな
い。この様な事があった事を
是非知っていたときたい。十

六年六月宮城球場での甲子園
七歳で上京して六十一年、東

私は昭和二十年四月、宮城
県仙台第二中学校に入学した。
今から言えば太平洋戦争での
日本の敗色は濃厚であったが、
戦時中の教育を受けていたパ
リの軍国少年三百五十名
は、故国の防衛のため最後の
勝利のため一命を賭して鬼畜
米英と戦う覚悟で一致してい
た。このような環境の母校と

も完べきに追い抜かれた！
どうしてこんなことになってしまったのだろうか……。先頭に立つリーダーが、明確な戦略と将来構想を持たないためにある。そのリーダーを育む我らが母校は、いま男女共学問題で揺れている！ 男女は本質的に役割が異なる。肉体は勿論、僅かの例外を除き、思考回路の形成が全く別であることは、日々感ずるところである。日本刀の如く、火花を散らして真剣勝負し、鍛錬する場は、動物の世界と同じ、男だけの厳しい集団の中にこそ、無限の可能性を秘めている。

同窓会報

ま行動するのは健康な青少年の姿ではないとの理由であつた)、学用品は背嚢に入れて所持、登下校時はゲートルを着用すること、廊下・道路で教諭・上級生とすれ違う際は拳手または前傾十五度の礼をするなど。朝急いで登校するときゲートルが緩んでずり下がるのは、見付かればビンタものだった。

②授業はかなりランダムであつた。天候がよいと各自シャベル一本を持たされ、近郊の野山に開墾に行く。食糧不足は深刻であつたから増産は絶対的な命令であった。よく行つたのは今で言えば青葉区の双葉が丘から泉区の虹の丘あたりになるだろう。野原に無計画に穴を掘り、あたりの落ち葉を集めて敷き込み、南瓜の種を一・三粒まいた。しかし、あとあと草取りや手入れもしなかつたから収穫も知らない。とにかく種をまいて歩いた。炭焼きや炭運び、材木運搬の日もあつた。

学校のグランドは中央の一

部を除いて麦畑となつた。肥料もほとんどなかつたのであ

るが、ショボショボした麦

がそれでも花を咲かせ、実を

ならせた。苦労して収穫し、脱穀し、精麦した。出来上がつた麦は全校生徒に一人一合ずつ分配された。

③昭和二十年七月九日の深夜米軍のB29爆撃機の大編隊が仙台を空襲し、市街地の大部は90%以上が焼け野原となつた。青葉山と川内の日本軍の施設は第二師団司令部以下見事に全部を失つた。仙台一中の校舎はコンクリート製で南北の校舎を繋ぐ廊下の天井に直撃弾の小さな孔があつたが、火事にはならなかつた。焼け出された陸軍の一部(通信隊)がしばらく南校舎に間借りしていた。

④昭和二十年八月十五日午後0時終戦の詔勅の放送があつた。その日は材木運搬のため作並街道(現在の48号線)の郷六か落合あたりに行つていた。農家の庭先に整列して、生まれて初めて天皇の声(玉音)を聞いたが正直、内容はよくわからなかつた。これからどうなるんだという不安は大きかつたが、平和の喜びなどというものは全くなかつた。

この詔勅の録音盤は当時宮内庁に勤めていた叔父が腹に

巻いて隠し、変事を聞きつけた銃と銃剣で誰何(スイカ)した兵隊の前を決死の覚悟とする兵隊の前を決死の覚悟とボーカーフェイスで通過して放送局へ運んだという武勇談を後で叔父本人から聞いた。

⑤終戦による混乱はほとんど無かつた。川内の日本軍は武装解除して退去。その後に米軍が入つてきた。学校の西南の交差点の真中に米軍の検問所ができ、常に拳銃を下げたMP(憲兵)がチェックし許可証を持たなければいわゆる内キャンプに立ち入ることは出来なかつた。

進駐軍と呼ばれた米軍の最初にやって来た連中は太平洋の島々で戦闘してきたのだろう、皆皮膚は真っ赤に日焼けしていた。白人と聞いたのに赤人だと思った。

どういう経緯からか覚えていないが、ある日学校で米人の講演会があり、その中で全員でWe will reconstruct Japan!と何度も大声で叫ばれた。

各クラスから選ばれて英会話の一クラスができた。先生は若い米兵一人、それに中年年輩の通訳が一人。ABCの発音

時間が過しました。我妻君の家は五十四坪と広く、絵画室がある洒落な家でした。

翌日は朝から雨、しかし頂上でお盆を見る頃には、丁度

雨も上がり平磯君の「濃緑の神秘的な色に包まれたお盆を

見る事が出来ラッキーでした。

仙台に育ったのにお盆を見るのは初めてでした」というメー

ルが入つて来ました。

帰りは青根温泉に寄り不忘

闇でお湯に入り、「政宗そば」

を食べ帰途につきました。

五仙会の発足は四十余年前

からのものです。仙台二高出身者三人、慶應高校出身者二

人の集まりのメンバーです。

年、三、四回程度会食し

ますが、会社現役時代には、

から直された。今は誰もが知つているセント・ヴァレンタインズデーを一生懸命英語で説明してくれるのに、初めて聞く我々にはひどく分かりにくかった。米兵は背が高く立派

だつたが、歳はあまり変わらず自分は十七歳だと言つてい

た。

終戦後間もない二中の思い

出の断片である。

「五仙会の蔵王の旅」

高9回卒 佐藤 広志



七月上旬、我妻君が山形市より宮城県遠刈田温泉の郊外に家を新築し移転しましたので、東京より五仙会奥さん同伴で訪問しました。

白石駅で落ち合い我妻君の幹事で楽しい一日間を過す事が出来ました。遅い昼食をミルクファーム蔵王でバーベキューをして、英國風のガーデンを見学、夜はレストランで楽しい

時間を使いました。我妻君の家は五十四坪と広く、絵画室がある洒落な家でした。

翌日は朝から雨、しかし頂上でお盆を見る頃には、丁度雨も上がり平磯君の「濃緑の神秘的な色に包まれたお盆を見る事が出来ラッキーでした。

仙台に育ったのにお盆を見るのは初めてでした」というメールが入つて来ました。

帰りは青根温泉に寄り不忘

闇でお湯に入り、「政宗そば」

を食べ帰途につきました。

五仙会の発足は四十余年前

からのものです。仙台二高

出身者三人、慶應高校出身者二

人の集まりのメンバーです。

年、三、四回程度会食し

ますが、会社現役時代には、

から直された。今は誰もが知つているセント・ヴァレンタインズデーを一生懸命英語で説明してくれるのに、初めて聞く我々にはひどく分かりにくかった。米兵は背が高く立派

だつたが、歳はあまり変わらず自分は十七歳だと言つてい

た。

終戦後間もない二中の思い

出の断片である。

幹部を経験している人々です
が、気配りの出来る謙虚な方々
です。

帰宅後、長岡さんから、旅

年に何回か会うのを楽しみ
にしている会です。

行記念写真集を送っていたただ
きました。

「雄大剛健の風」を守るべし 画一的な共学化は伝統破壊の「暴挙」

高29回卒 小坂 実

二二高を卒業して二十七年に
なるが、同窓会報が届くたび
に、二高健児たらんとして心
身を陶冶した三年間が、恩師
や友人達の温容とともに思い
出され、往時を懐かしんでい
る。

その母校が数年後にも共学
化され、男子校たる二高は消
滅してしまうという。男子校
としての二高で多くを学び得
たと感じている卒業生の一人
として、この共学化の動きに
は耐え難い気持ちでいる。そ
こで、この場をお借りして共
学化への反対意見を述べてみ
たい。

反対の理由は三つある。第一
に、共学化によって二高の
伝統ある教育目標が消滅して
しまうことが危惧されること
である。「至誠業に励み、雄
大剛健の風を養い、ともに切

磋琢磨を怠らず。」卒業生や
在校生の中には、この二高の
教育目標に惹かれて入学され
た方々も少なくないであろう。
しかし、共学化となれば当然
な共学化には県民や別学校関
係者を納得させるに足るだけ
の根拠がないことである。共
学化を決めた県当局の正式な
見解は寡聞にして知らないが、
「雄大剛健の風」という男子
校ならではの精神は否定され、
廃止となろう。こんなことを
喜ぶのは一体誰なのであろう
か。「雄大剛健の風」の喪失
は、国家社会にとっての甚大
な損失だと思われてならない。

共学化に反対する第二の理
由は、別学で学びたい子供た
ちから人生設計上の貴重な選
択肢を奪ってしまうからであ
る。子供たちの性格や個性は
実に多様であり、共学で伸び
環境の中でこそノビノビ学び
得、可能性を発掘できる大勢
の子供たちがいる。その意味
で、共学校と別学校が共存す

る現状こそは、子供たちの多
様なニーズに最も適った理想
の姿であり、宮城県が全國に
誇りうるもの一つとさえ言
えよう。画一的な共学化の推
進は、その「誇り」を県民か
ら奪ってしまう暴挙と思えて
ならない。

第三の反対理由は、画一的
な共学化には県民や別学校関
係者を納得させるに足るだけ
の根拠がないことである。共
学化を決めた県当局の正式な
見解は寡聞にして知らないが、
同様の共学化の動きは他県で
も起きており、その背景は推
測できる。小生が在住する埼
玉県でも昨年、県の男女共同
参画苦情処理委員が「別学は
人格形成と男女共同参画社会
の視点で問題」と指摘、
別学の公立高校の共学化を勧
告した。画一的な共学化の背
景には、別学は性差別の温床
であり、男女共同参画を阻害
するという見方が潜んでいる
と言える。

むろん、「別学＝性差別」
などという見方は容認できな
い。別学が差別というなら、
宝塚歌劇、歌舞伎、男声合唱
や女声合唱も差別となるだろ
う。「別学は人格形成上問題」

などという見方は結局、別学
に対するいわねき偏見以
外の何物でもない。

二高で学んだ者として強調
しておきたいのは、別学校に
は其学校とは異なる良さがあ
ることである。例えば異性の
視線を気にせずに、勉強や部
活に純粹に打ち込めることが
どは、その最たるものと感ず
る。青少年のモラルの退廃
が臨界点に達してしまった感
のある昨今であれば、画一的
な共学化ではなく、こうした
別学の教育的意義を改めて見
直すことこそが、教育行政に
携わる関係者が持つべき見識
というものではなかろうか。

ともあれ、別学校に対する
誤解や偏見、あるいは「時代
の流れ」などという軽薄な空
気によって、長い歴史の風雪
に耐えて築かれた別学校と共
学校の共存体制を壊してしま
えば、悔いを千載に残してし
まうだろう。「過ちを改める
に憚ることなかれ」という。

宮城県の関係者の方々にはこ
の際、後世に恥じぬよう善処
して頂きたいものである。

ちなみに埼玉県の場合、P
T A、生徒会、同窓会などが
共学化反対に立ち上がり、二
十七万余の反対署名を集めて
知事に提出。それを背景に今
年三月、県教委は共学化を見
送るという英断を行った。老
若男女の愛校心が行政を突き
動かした快挙であった。

会員短信の原稿募集

今回の会員短信にも多数の会員から原稿をお寄せ頂
き有難うございました。

これからも春秋二回の会報発行にどしどし原稿をお
寄せいただくようお願いいたします。

春季会報の締切 四月末日

秋季会報の締切 十月末日

五〇〇字以内、写真掲載可

同窓会事務局宛



窓会報春季号に寄せた運動部

の「今年にかける抱負」を思
い出した。それには、「今年
の目標はずばり新人戦団体優
勝」と力強く書かれている。
現在、この目標を達成し、こ
うして優勝の報告ができるい
であります。

そろって全国選抜に行く二高・一高の写真です。
また、何よりも部員達の応援が選手達に力を与えてくれたことは、言うまでもない。現在、テニス部は五十人近くの部

今、この執筆にあたって同
窓会報春季号に寄せた運動部

（県総体ダブルス優勝・インターハイ出場・県新人団体優勝・県新人シングルス準優勝・東北新人団体準優勝・全国選抜出場）

現役生徒の活躍

テニス部

白井嵩幸



（県総体準優勝・東北大会出場）

鳴海圭亮

東北大会に出場できることは自分たちにとって、またOBの方々にとっても喜ばしいことであった。能代工業相手にあれだけの試合ができるのは、今となってはよい思い出である。

だが、県大会準優勝であったのはやはり悔いが残る。勝利への執念、あと一步の努力、自信。自分に

は力が足りなかつたのかは分からぬ。それでも最善の試合をしてくれた。

また、何よりも部員達の応援が選手達に力を与えてくれたことは、言うまでもない。現在、テニス部は五十人近くの部

員がいる。伝統ある二高の応援練習を乗り越えてきた猛者達五十人の応援である。その様子はすごい迫力で、選手達は何度も勇気づけられ、試合を戦い抜くことができた。声がかかるまで応援し続けてくれた部員達に心より感謝したい。

また、福島の東北大会でここ何年か遠ざかっていた全国大会ではまず一勝を目標にたいと思う。全国のレベル

選抜への切符を得ることができた。大会での試合前夜ホテルの一室で四時間にも及ぶミーティングをした。皆で真剣に作戦を考えた。その結果、メンバーの気持ちが一つとなつて決勝戦まで勝ち進むことができた。惜しくも準優勝だったが、その悔しさをバネに全国大会ではまず一勝を目標にたいと思う。全国のレベル

これまで支えて下さった多くの方々に感謝し、来春、博多で行われる全国大会で悔いを洗うべく、また、何よりも体力の向上に力を入れ、強豪達に向って行きたい。

これまで支えて下さった多くの方々に感謝し、来春、博多で行われる全国大会で悔いを洗うべく、また、何よりも体力の向上に力を入れ、強豪達に向って行きたい。

新たな目標に向かって日々努力を重ねている。今、自分が何をすべきなのか、何が足りないのか、ということを常に意識して毎日を過ごしている。このことはどの状況においても同じであろう。後輩たちも今自分のすべきことは自明であるはずだ。努力した者は必ず報われる。そして君たちも

も同じであろう。後輩たちも同じである。後輩たちも今自分のすべきことは自明であるはずだ。努力した者は必ず報われる。そして君たちも

も同じである。後輩たちも今自分のすべきことは自明であるはずだ。努力した者は必ず報われる。そして君たちも

も同じである。後輩たちも今自分のすべきことは自明であるはずだ。努力した者は必ず報われる。そして君たちも

バレーボール部

〔國体出場〕

先日行なわれた静岡国体に、自分は少年男子バレーボール競技の宮城県代表として出場させていただきました。国体

タルスポーツだと言います。前評判や個々の能力では自分達の方が上だと自負していましたが、試合で勝てなかつた

の出場というのは初めての経験だったので、まず最初に会式の盛大さに驚き、それとともにこれから始まる大会への強い期待とやりがいを感じたのを憶えています。その二日後の試合で、自分達は地元静岡と対戦しました。相手が地元という事で練習の段階からジャッジやムードなどの面で意識してきたのですが、試合では結局そういう部分から崩されフルセットの末敗れてしまいました。バレーはメン

力は高くて「強い」チームになりきれていなかつたからだと思います。七位という結果に終わりましたが、この敗戦や課題を見つめ、今後のバレーや日常生活に生かしていくたいと思います。最後になりましたが、この三年間自分に思い切り好きな事をさせて下さった親、先生方、全ての人への感謝を忘れずに、さらにはやはり精神面が脆く、能

この大会は八月十一日から二日間に渡って、福井県民会館で催されました。仙台より幾分暑いかと予想していましたが、案外過ごしやすいものでした。

対局は個人戦と団体戦に分けられ、個人戦は各都道府県から男女各一名、団体戦は男女混成の三名で一チームとなっています。私は団体の主将を務めました。

対局は個人戦と団体戦に分けられ、個人戦は各都道府県から男女各一名、団体戦は男女混成の三名で一チームとなっています。私は団体の主将を務めました。

暮の醍醐味は、盤上の石を通して相手の心、またはその動きを直観的に洞察するところにあると思います。相互にそれを積み重ねていく過程にも、楽しみがあります。今回の大会ではそれを充分に堪能し、知り合いにも多く会えました。高校生活最後の大会でした。高校生活最後の大会でした。やはり首都圏が強く、上位を占めていました。

上位を占めていました。碁の醍醐味は、盤上の石を通して相手の心、またはその動きを直観的に洞察するところにあると思います。相互にそれを積み重ねていく過程にも、楽しみがあります。今回の大会ではそれを充分に堪能し、知り合いにも多く会えました。高校生活最後の大会でした。高校生活最後の大会でした。やはり首都圏が強く、研鑽努力している。そして、先日行われた新人戦の団体戦では、五月と同じ浅川、畠山、宮腰のチームが再び快進撃を続け、見事優勝することができます。接戦が多かつたが、一人が負けても他の二人がしっかりと勝つという団体戦ならではのチームワークの良さがあつた。また、副将の畠山が無敗という活躍を見せた。この優勝という結果には大変満

（高文祭全国大会（於福井県）に出場して） 風間

風間宙文

られ、体操部は今年限りでなくなります。練習等は学校でしていたのではないので、体操部の存在自体を知らない人も多いのではないかと思います。しかし、多くの人に支え

られ、この三年間活動してきました。

最後に、この体操部を支えてくれた増子先生や多くの方々ありがとうございました。ありがとうございます。

では一高に善戦しながらも惜敗してしまい、準優勝という結果に終わった。しかし、二年生だけのチームでありながらそこまで勝ち進めたのは、日頃の努力の賜物であり、大健闘であったと思う。

柴小屋 康行

体操部

健

今年は去年果たせなかつた
念願のインターハイの出場権

で悔い無く終えることができました。

を手にすることができました。

体操部は、一昨年からでき

インターハイでは予選落ちと
いう残念な結果になってしま
いましたが、自分の持てる限
りの力を精一杯出しきれたの

たのですが、部員は二名しかおらず、二人とも今年限りで引退です。新入部員もおそらく入ってこないだろうと考え

将棋部

将棋部

卷之三

榕園集

浅川友二

この調子で後日行われる個人戦でも良い結果を残したい。



—東北大學の協力で実現—

一学年で「一日大学」を実施

新教育課程の目玉となる「総合的な学習の時間」が、本校においても、今年から一学年でスタートした。その一環として、東北大學のご協力をいただき、十月と十一月の二回、「一日大学」が実施された。これまで単発的に出張講義のような企画はあったが、この「一日大学」は、東北大學の各学部の先生方をお招きし、生徒が自分の進路志望にあわせて、好きな講義を選択して受講できるようにしたものです。そうして「自己の在り方・生き方を考える力」を養うことで、さらには生徒の進路意識を高め、高大連携に資することを目的に実現した。講師としてお招きした東北大學の先生方は、別記のとおりであるが、中には、医学部の本郷道夫先生（高19回卒）、工学部の新妻弘明先生（高18回卒）、工学部の日野光元先生（高17回卒）と、本校同窓生にもご協力をいただきました。先生方にあつく感謝申し上げたい。



◇◇講師の先生方◇◇

◎日時：11月27日(木) 15:00~16:30

◎日時：10月30日(木) 15:00~16:30

所属学部	講師名	講 義 の テ ー マ
文学部 アドミッションセンター	松本宣郎 教授	古代ローマ帝国の都市に生きたキリスト教徒
教育学部 セントラル	宮腰英一 教授	世界のなかの日本の教育・「学力」をめぐる論争と戦略
法学部	齊藤豊治 教授	少年はなぜ犯罪を犯さないのか
理学部	高橋幸弘 講師	地球・宇宙への挑戦
医学部 アドミッションセンター	本郷道夫 教授 新妻弘明 教授 夏目達也 教授	A 医学教育改革を巡って B 常識が常識でなくなるとき Energy In My Yard：自然エネルギー利用拡大の戦略 現代日本の青年と中等教育政策
歯学部	高橋信博 教授	口から健康を考える
工学部	仁平義明 教授	カラスに出会った心理学者たち
経済学部	鈴木俊夫 教授	「会社とは何か－経済学－経営の知識を使って会社を考えてみよう」
文学部	今井潤 教授	医学と薬学の接点
農学部	日野光元 教授	海洋プランクトン増殖によるCO ₂ 固定化 内湾・河口域の稚魚の生態 「私たちはどうにしてそれを明らかにするか ここを測る－科学的心理学へのいざない－」
工学部	大森迪夫 教授	

部活動の成果

学芸部成績 (平成15年11月まで)

部名	成績	部名	成績
写真部	第10回宮城県高等学校写真展（於宮城県美術館） (H15.11.12~11.16) 銅賞（3位）2年 石川 祐将 「民族舞踊」 銅賞（〃）1年 高野 泰志 「木漏れ日」 写真集・高文連「みやぎ高校画報」 パトンダンス発表会取材・編集（1頁） (H15.10.24) 仙台二高の紹介（2頁にわたって）	英語部	第3回宮城スキット甲子園 予選通過 8/20 " 決勝 出場 9/5 北陵祭で、スキット3作発表
文芸部	第5回高校生文芸道場北海道・東北ブロック大会（宮城大会）参加。第1分科会（リレー小説） 主宰 「井上ひさしの文章教室」 2年 佐々木博一 入選	吹奏楽部	宮城県吹奏楽連盟主催 管打楽器ソロコンテスト マリンバ 高橋 貴彰（3-3）金賞 日本吹奏楽指導者協会東北支部主催 管打楽器ソロコンテスト 南東北大会 アルトサックス 辻 拓紀（3-3）金賞 マリンバ 高橋 貴彰（3-3）金賞 ユーフォニアム 石原 英治（3-5）金賞
社会部	第47回社会科（地理歴史科・公民科）生徒発表会 奨励賞 「ベートーヴェン その音楽を通して」 3年 峰岸 佑亮	東北大会	アルトサックス 辻 拓紀（3-3）銅賞 マリンバ 高橋 貴彰（3-3）銅賞 第16回定期演奏会開催（6/28：宮城県民会館） 全日本吹奏楽コンクール第46回宮城県大会仙台青葉・泉地区予選 大編成の部 銅賞
物理部	第56回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「風に向かって進むヨットの研究」 " " 「リニアモーターカーの研究」 平成15年度 ひらめきキッズまつりにインストラクターとして参加（於 東北電力グリーンプラザ）	合唱部	北陵祭におけるステージ発表 。さくら 。Let it be 。めぐる季節 。春よ来い 。I love you 。上を向いて歩こう 。匠 。贈る言葉 (順不同) 県高等学校総合体育大会開会式 入場行進での合唱参加 。夢の別の名前 etc ...
化学部	第56回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「アルマイドの製法と染色」 2年 後藤 悠太・小畠 裕史	囲碁部	第27回全国高校囲碁選手権大会 県大会 男子団体 準優勝 (高橋 淳・上山 信一・谷藤 洋介) 第27回全国高文連碁専門部 団体16位(47県中) (主将 風間 宙文) 第3回県高校囲碁九路盤大会 2位(高橋 淳)
生物部	第56回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「モデルを使った川の 自然浄化機構の解明」 2年 橘川 芳明 1年 浅野 祥・渡辺 慧介	将棋部	第39回全国高校将棋選手権大会宮城県予選 団体戦 浅川 友二・畠山 寛希・宮腰 英洋) 準優勝 第10回宮城県高等学校総合文化祭新人戦 団体戦 浅川 友二・畠山 寛希・宮腰 英洋) 優勝 早川 格・太田 広大・佐々木博一 3位 第20回宮城県高等学校将棋新人戦 第3位 畠山 寛希 東北大会出場 第5位 浅川 友二 "
地学部	仙台二高・西高・仙台高合同 北海道夕張・白老・豊羽・有珠山夏季巡査調査 (8月7日~12日) 第56回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「天体望遠鏡による惑星のビデオ観測」 齋川 賢一・佐藤 智紀・伊藤 卓弥 鎌田 紘彰・小笠原 雄 「三滝付近の溶岩の変遷」 牧 悠介・南 智之 相場 峻		

部 活 動 の 成 果

運動部成績

大会名 部名	平成14年度		平成15年度		大会名 部名	平成14年度		平成15年度	
	新人大会	定期戦	総合体育大会	定期戦		新人大会	定期戦	新人大会	定期戦
硬式野球部	県大会 1回戦 仙台二11-12仙台		負け	春季県大会 1回戦 仙台二9-5佐沼 2回戦 仙台二2-3古川 選手権宮城大会 2回戦 仙台二8-0柴田農林 3回戦 仙台二13-5仙台西 4回戦 仙台二1-8東北 (ベスト16)	テニス部	<団体> 第3位 1回戦 仙台二4-1黒川 2回戦 " 3-0東工大 3回戦 " 3-0氣仙沼 決勝リーグ " 3-2富谷 " " 2-3東陵 " 2-3榎ヶ岡 <個人> (シングルス) 北島和彦 ベスト16 (ダブルス) 高橋 啓・北島和彦 第3位	<団体> 2回戦 仙台二2-0宮萬尊 3回戦 " 2-0柴田 4回戦 " 0-2東陵 <個人> (シングルス) 北島和彦 ベスト8 (ダブルス) 高橋 啓・北島和彦 優勝 白鳥隆宏 ベスト16 白鳥隆宏・遠藤裕太 ベスト16 (ダブルス) 高橋 啓・北島和彦 優勝 白鳥隆宏・高橋徹也 ベスト8 個人(ダブルス) 高橋 啓・北島和彦は東北大会、インターハイ出場		
軟式野球部	1回戦 仙台二0-1石巻	勝ち	1回戦 仙台二0-0仙台工 (延15回) 再試合 仙台二1-5仙台工						
陸上競技部	草野周 100M 6位 熊谷遼 5000M 7位				ソフトテニス部	県新人大会 ・個人戦 ベスト3山田・三島組 ・団体戦 1回戦 二高2-0南陽高 2回戦 二高2-0本吉高 3回戦 二高2-0石巻工業高 4回戦 二高1-2白石工業高 ベスト8 (全道選抜大会予選=県インドア大会)に出場	個人戦 ・中谷・田所組 ベスト32 団体戦 1回戦 二高2-0本吉高 2回戦 二高0-2東北学院		
水泳部	400mR (澤藤・佐々木・桂西・葛西) 800mR (澤藤・佐々木・葛西・葛西) 400mMR (澤田・澤藤・佐々木・葛西) 50m自由形 佐々木哲也 6位 100m自由形 佐々木哲也 6位 葛西 関介 1位 東北大会出場 200m自由形 澤藤 俊平 6位 葛西 関介 2位 東北大会出場 400m自由形 澤藤 俊平 6位 総合成績 第5位		400mR (佐々木・澤藤・佐藤・葛西) 9位 東北大会出場 800mR (澤藤・佐々木・佐藤・葛西) 5位 東北大会出場 400mMR (澤田・澤藤・佐々木・葛西) 8位 東北大会出場 50m自由形 佐々木哲也 6位 100m自由形 葛西 関介 2位 葛西 関介 2位 東北大会出場 200m自由形 葛西 関介 2位 東北大会出場 1500m自由形 決勝 澤藤 俊平 6位 東北大会出場 200m個人メドレー 澤藤 俊平 5位 東北大会出場 総合成績 第5位 水球 優勝 対栄田 15-10	卓球部	団体 1回戦 仙台二3-1石巻商 2回戦 仙台二0-3東北 個人 1回戦 横山(准二)1-3大町(南都) 石崎(准二)3-0佐藤(白工) 2回戦 石崎(准二)0-3月野(古賀) 3回戦 横山(准二)0-3伊藤(宮工)	団体 1回戦 仙台二3-1柴田農 2回戦 仙台二0-3東北 個人 2回戦 星野(仙二)2-3根井(石巻商) 佐藤(仙二)0-3一柳(准二) 3回戦 横山(仙二)3-0瀬野(五城) 4回戦 横山(仙二)0-3伊藤(宮工)			
サッカー部	(新人大会) 仙台地区予選 仙二2-2仙商 " 1-0松陵 " 9-0明成 得失点差により、第9代表決定戦へ 第9代表決定戦 仙二3-3富谷 (PK 3-4) 予選敗退		(総体) 仙台地区予選 仙二2-1工大 " 3-0仙台 " 2-0松陵 " 0-0利府 ブロック2位により県大会出場 県大会 1回戦 仙二2-0米谷 2回戦 " 3-3仙商 (PK 5-4) 3回戦 " 0-1利府 県ベスト8	バドミントン部	個人 斎藤祐樹 ベスト16 鈴木啓賀 ベスト32	団体 ベスト8 個人 鈴木啓賀 ベスト32 藤原・塚本 ベスト32			
ラグビー部	Aブロック (15人制) 1回戦 仙二24-10多賀城 2回戦 仙二14-15宮城水産	(平成14年度) 優勝 準優勝	2回戦 仙二12 (12-14) 0-19 33古川商	弓道部	Aチーム (堀内・青木・谷川・唐橋・山内・梅内) Bチーム (田宮・菊地・黒須・栗原・向田・木村) A・Bとも予選敗退	Aチーム (細谷・向田・黒須・栗原・唐橋・青木) Bチーム (福原・梅内・木村・菊地・山内・長尾) A・Bとも予選敗退			
ハンドボール部	1回戦 仙台二8-9仙台東		1回戦 仙台二13-26古川学園	柔道部	団体 予選リーグ 2戦2敗 個人 60kg 四ノ宮 ベスト16 66kg 上野 予選敗退 73kg 池原 予選敗退	団体 予選リーグ 仙二0-3石工 仙二4-1氣仙沼向洋 決勝トーナメント 1回戦 仙二1-2黒川 個人 60kg 四ノ宮 ベスト16 66kg 上野 予選敗退 73kg 池原 予選敗退 90kg 鈴木 予選敗退 100kg 大鶴 予選敗退			
バスケットボール部	2回戦 仙台二89-51古川商業 3回戦 " 76-31古川工業 準々決勝 " 88-63仙台尚商 準決勝 " 75-64仙台商業 決勝 " 47-51仙台 第2位 東北高校新人大会 (一関市2月1日、2日) 予選リーグ 仙台二53-110能代工業 " 57-90弘前商業 予選リーグ敗退	勝ち 仙台二89-51古川商業 (準々決勝敗退)	2回戦 仙台二92-62仙台三 3回戦 " 71-55泉館山 準々決勝 " 94-52登米 準決勝 " 75-63仙台商業 決勝 " 56-60東北学院 第2位 東北高校新人大会 (山形市6月28日、29日) 1回戦 仙台二81-65大山形 準々決勝 " 60-75能代工業 東北ベスト8	剣道部	団体予選リーグ 敗退 仙二3-0塩釜 仙二1-2名取北 個人トーナメント 1回戦 加藤(仙二)×○富田(番谷) 今野(仙二)○×菊田(仙工) 同 2回戦 今野(仙二)×○柴口(角田)	団体予選リーグ 仙二5-0志津川 仙二3-0築館 団体トーナメント 2回戦 仙二4-1名取北 同 3回戦 (ベスト8) 仙二1-3古川 個人トーナメント 1回戦 鍛田(仙二)○×京極(田尻) 同 2回戦 加藤(仙二)×○菊田(仙工) 鍛田(仙二)○×大滝(白工) 同 3回戦 鍛田(仙二)×○白井(仙三)			
バレーボール部	2回戦 仙台二2-0仙台向山 3回戦 仙台二2-1石巻商業 4回戦 仙台二0-2東北 (ベスト16)	勝ち	2回戦 仙台二2-0石巻工業 3回戦 仙台二2-0宮城農業 4回戦 仙台二0-2白石工業 (ベスト16)	フencing部	団体 1回戦 仙台二5-0追桜 2回戦 仙台二1-5氣仙沼 個人 フルーレ 11位 藤原 翔	団体 2回戦 仙台二0-5氣仙沼 個人 エベ 4位 藤原 翔			
	柴小屋康行 平成14年度 全日本ユース選抜選手 平成15年度 全日本ジュニア選抜選手			山岳部	17位	7位			
				スキーパーク部					
				ヨット部	9位 (佐藤・砂川)				
				体操部	個人 2位 関 健 (東北大会出場)	個人 2位 関 健 (インターハイ出場)			

計報

10	10	9	9	9	9	7	7	7	7	3	14	12	10	10	10
/	/	30	27	26	28	18	12	12	24	9	8	19	25	21	11
芳賀	飯島	小池	佐々木	青山	若生	小林	佐藤	飛田	武者	柏木	赤木	原田	伊澤	鈴木	不明
良夫殿	修殿	誠殿	金雄殿	嵩殿	春博殿	春郎殿	昭三殿	實殿	佐々木	敏郎殿	将光殿	恭平殿	彰殿	孝明殿	14年
高15回	高16回	高17回	高18回	高19回	中20回	中21回	中22回	中23回	達雄殿	高6回	高6回	早苗殿	高6回	高6回	11年
回	回	回	回	回	回	回	回	回	佐々木	中45回	中45回	中37回	中39回	中44回	不不明
7	7	6	6	6	6	5	5	5	17	5	5	4	3	3	15年
/	6	3	16	15	13	7	26	19	21	16	11	9	14	22	12
日野	杉田	鈴木	豊島	高橋	安部福	2郎殿	二瓶賢	賢次郎殿	要三殿	齊藤	高橋	菅原	河野	佐藤	12
市朗殿	宏殿	稔殿	紳一殿	實殿	2郎殿	眞一殿	眞一殿	敬一殿	時保殿	佐々木	猪股	佐々木英一	勝殿	芳夫殿	11年
高4回	中45回	中45回	中45回	中45回	中45回	中45回	中45回	中45回	高6回	高6回	高6回	高6回	高6回	高6回	11年
正1/6	誤1/6	平成15年	正10/6	誤10/6	平成14年	正10/6	宇都	宇都	計報記事	(16頁)	同窓会報訂正のお願い	（以上事務局判明分）	心からご冥福をお祈り申し上げます。	7/12	7/14
齐藤	英二殿		善満殿	善満殿		中40回	中40回		（年度春季号）	に次のような誤りがありましたので、訂正するとともに、関係する方々にお詫び申し上げます。	11/19	11/9	10/19	10/16	10/16
中39回	高2回		中40回	中40回										11/19	11/10

平成十五年度春季号

計報記事 (16頁)

今春の同窓会報(平成十五年度春季号)に次のような誤りがありましたので、訂正するとともに、関係する方々にお詫び申し上げます。

事務局だより

事務局の事務の林の勤務曜日がH16年1月から変更となります。
月・木・金 10時~15時
但し、月曜が休日の週は、火・木・金 10時~15時

誤1/21
正1/21
分部
直孝殿
高18回

編集後記

旧体育館の西側には小さな講義室があつたが、高校生の頃、あの狭い部屋に押し込まれかちかちに緊張しながら、熱血漢であった今は亡き恩師の保健の授業を受けたことが今でも忘れられない。その旧体育館もまもなくこの北陵の地から姿を消す。新体育館の完成を喜ぶと同時に、幾多の北陵健児を鍛えてくれた旧体育馆を偲び、本号の結びとし

たい。

(遠藤吉夫 高31回卒)

の意見を聞き、また取り入れながら、活動していきたいと考えています。

PTA同窓会合同新年懇親会開催のお知らせ

平成十六年の「PTA同窓会合同新年懇親会」は以下の日程で開催されます。多くの皆様のご出席をお願いいたします。

期日：平成16年1月13日(火) 18時20分～
場所：仙台ホテル 3F 「青葉の間」

仙台市青葉区中央1-10-25

TEL 022-225-5171

会費：5,000円

すでに御案内のはがきを郵送していますが、はがきが届いていない方で、出席を希望される方は、同窓会事務局まで御連絡ください。

tel 022-221-5651
同窓会事務局長 石井 康宏

事務局を担当して、あつと
いう間に2年が経ちました。
通常の常任委員会、総会、PTA同窓会合同新年会の活動
のほかに新しく総務委員会・
IT準備委員会が立ち上がり
活動をしております。益々の
同窓会の発展のため努力して
いるところです。多くの方々

I T 準備委員会が立ち上がり
活動をしております。益々の
同窓会の発展のため努力して
いるところです。多くの方々